

令和4年第5回

幸手市教育審議会会議録

招 集 期 日	令和4年10月25日(火)午後1時30分					
開 会 場 所	幸手市役所本庁舎 3階 第1委員会室					
開会の日時・宣告者	令和4年10月25日(火)午後1時30分				森 祥一	
閉会の日時・宣告者	令和4年10月25日(火)午後3時15分				小林 学	
議 長	森 祥一(会長)			議長代理	小林 学(副会長)	
委員出席状況	議 席	氏 名	摘 要	議 席	氏 名	摘 要
	1	出井 保信	出席	1 1	細井 孝	出席
	2	稲垣 仁美	出席	1 2	松田 光男	出席
	3	井上 弘江	出席	1 3	松本 佑季子	出席
	4	大村 真樹	出席	1 4	眞中 千穂	出席
	5	小川 聖子	出席	1 5	三柴 幸一	出席
	6	小曾根 昌雄	出席	1 6	宮田 充	欠席
	7	木村 麻子	出席	1 7	森 祥一	出席
	8	木村 則之	出席	1 8	山下 治郎	出席
	9	小林 学	出席	1 9	山本 太輔	欠席
	1 0	竹内 徳望	出席	2 0	渡邊 千穂	出席
議事参与者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教育部長	小林 秀樹				
	総務課長	服部 道春				
	学校教育課長	堀越 成夫				
	施設整備課長	菅野 司				
	施設整備課 主席主幹	島田 陽一郎				
書 記	大竹孝典・関口智章		傍 聴	0人		

会議事件名	顛末
<p>1 開 会 午後1時30分</p>	<p>森会長 開会を宣する。</p>
<p>2 前回会議録の承認</p>	<p>森会長 前回会議録の承認を求める。 《承認》 全員異議なく承認。</p>
<p>3 会議録署名委員の指名</p>	<p>森会長 議席番号9番の小林委員と議席番号11番の細井委員に署名をお願いする。</p>
<p>4 議事 (1) 小・中学校のセグメント分析結果について</p>	<p>事務局 小・中学校のセグメント分析結果について、資料により説明する。 《質疑》 委員 「児童・生徒数と1人当たり行政コスト散布図・近似曲線」の資料から、さくら小学校が漏れているのではないか。 事務局 大変申し訳ない。修正した資料を改めて配布したい。 委員 権現堂川小学校の行政コストのうち、学校管理費・用務員人件費が他校と比較して若干高い理由を伺う。 事務局 本資料の基準年度となる令和2年度は、多くの学校で会計年度任用職員が週5日、または会計年度任用職員と再任用職員を混在して週5日勤務となっていたが、権現堂川小学校と西中学校は、正規職員が配置されていたことから、他校と比較して人件費が高くなっている。 委員</p>

<p>(2) アンケート結果の概要について</p>	<p>学校ごとの分析結果だが、グラフの軸の値を全校統一にした方が、学校間の比較がしやすいと感じた。</p> <p>事務局 市街化区域の学校は、土地の取得価格が非常に高いため、軸の値を統一してしまうとグラフとして表現できなくなることから、各学校の数値に合せた値とした経緯がある。</p> <p>数値は把握しているので、学校間の比較ができる横並びの資料を別途お示しする形でよいか。</p> <p>委員 はい。</p> <p>森会長 それでは、後日、資料の提供をお願いしたい。 なお、改めて質問等がある場合は、後日、施設整備課より事務局を通じて回答するので、事務局へ連絡をお願いしたい。</p> <p style="text-align: center;">＜ 議事説明職員 退席 ＞</p> <p>事務局 アンケート結果の概要について、資料により説明する。 《質疑》</p> <p>委員 自由記述の回答結果を見ると、学校内に内在している課題がかなり多いと感じる。具体的には、将来の学校の在り方より、教職員の問題や学力の問題など、現在、子どもを学校に通わせている保護者の不安が多いと感じる。</p> <p>まずは、児童・生徒を大切に、様々な課題への対応を優先してほしい。</p> <p>森会長 御意見等をいただいた様々な課題については、私も校長として適切に対応していかなければならないと強く感じた。適宜、対応していきたい。</p> <p>委員 今回、小・中学校のセグメント分析結果を示していただいたことで、市の財政が非常に厳しい中、小規模校がコスト高になっている現状が非常によく分かった。</p> <p>今後、検討していく上で、教育理念や子どもたちの育て</p>
---------------------------	--

方に重点を置いた方が良いのか、コスト面に重点を置いた方が良いのか迷っている。

なお、今回、アンケート結果の概要を示していただいたが、事務局の分析も示していただかないと、意見を申し上げるのは難しいと感じた。

#### 事務局

今回は、時間的な余裕が無かったため、このような形で概要をお示ししているが、後日、さらに事務局で分析した結果をお示しするとともに、いずれは市のホームページを通じて市民に公表していきたいと思っている。

なお、自由記述でいただいた様々な御意見等については、市の関係部署への情報共有を図っていきたい。

#### 委員

報告書を読んでの感想だが、例えば、これからの学校に望む施設や教育に係る設問の回答で、「遊具などがいっぱいある」を選択した子どもが複数人いるのに対し、多くの大人が選択していなかった。この結果を見ただけでも、子どもの気持ちを理解していない大人がいかに多いかと感じた。

それから、保護者からの御意見で、例えば児童・生徒に一人一台のタブレット端末が整備されているのに、なぜオンライン授業をやってくれないのかといった、現状の教育に対する不満が結構あるように感じた。

いきなり教育現場にタブレット端末が入ってきたことで、その利活用に教職員が苦勞されていると想像するが、車の運転と同じで使い方がわかれば利活用されるようになると思うので、教職員を指導するためのICT専門員のような人員の配置が必要ではないかと感じた。

#### 事務局

教育委員会では、タブレット端末の有効的な活用方法の検討や、先進自治体の事例を研究するため、各校から代表者1人を集めた学校ICT検討委員会を立ち上げている。

また、委員からご提案いただいたICT専門員を今年度から配置し、教職員の指導やデジタルシティズンシップ教育に取り組んでいる。

さらに現在、タブレット端末を活用した探究的な学習に取り組んでおり、先日、プレゼンテーション講座を開催

したところである。

オンライン授業の実施については、ICT検討委員会等で検討していきたい。

委員

アンケート報告書の概要版に目を通したが、パブリックコメントとして非常に良いデータが取れたのではないかと感じた。

今後、このデータを教育審議会ですぐ生かしていくのが私たち委員の課題であり、委員の皆様も何かを作り上げていきたいという強い思いがあると思う。

そこで、このアンケート結果を踏まえて、この審議会ですぐ審議を進めていくための方向性のようなものを事務局から示していただけるのか伺う。

事務局

このアンケート結果や、本日、委員の皆様からいただく御意見等を踏まえて、事務局からいくつかのパターンを例示し、これらを基に皆様に御審議いただきながら方向性を狭めていきたいと考えている。

事務局

補足だが、自由記述の回答結果には、この審議会ですぐ御審議いただくテーマから外れたものもあるが、いただいた貴重な御意見等を行政として今後の施策に生かしていく必要があると考えている。

テーマから外れた御意見等については、市の上層部で情報共有するなどして、生かしてまいりたい。

事務局

委員から御指摘いただいた「児童・生徒数と1人当たり行政コスト散布図・近似曲線」の資料について、施設整備課から修正した資料の提供があったので、配布する。差し替えをお願いしたい。

森会長

アンケート報告書概要版については、今後、事務局で精査した後、市のホームページで公表するので、概要版の取扱いには十分、御注意いただきたい。

《承認》 全員異議なく承認。

(3) 適正規模・適正

<p>配置について</p> <p>①幸手市の通学距離圏GIS分析マップについて</p>	<p>事務局 幸手市の通学距離圏GIS分析マップについて説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>委員 分析マップの基礎データが古いのではないか。</p> <p>事務局 一般に公開されているデータを基に作成されていることから、基礎データが古いものもあることを御理解いただきたい。</p>
<p>②先進地事例について</p>	<p>森会長 前回、委員から小規模校を抱える他自治体の、学校の統廃合を進めるうえでの課題や、解決した事例を伺いたいとの要望があったことから、今回、行田市の学校再編について小川委員から、春日部市の学校再編について小林副会長からそれぞれ、経過や成果についてお話を伺い、今後の審議の参考としたい。</p> <p>小川委員 行田市の事例について、お話いただく。</p> <p>小林副会長 春日部市の事例について、お話いただく。</p> <p>委員 学校再編に係る地域説明会の期間等について伺う。</p> <p>小川委員 説明会は、かなりの回数、開催していた。 また、市民の信頼を得て成功に導くため、その都度、会議の進捗状況を広報紙や市のホームページを通じて、お知らせを行っていた。</p> <p>小林副会長 意見交換会を平成25年にスタートし、最終的に開校したのが平成31年だったことから、かなりの時間をかけていた。 特に庄和北部地域の学校再編に当たり、義務教育学校は県内に無かったことから、県外の事例を研究しながら春日部市にあった在り方の検討を進めるため、月1回程度のペースで会議を行っていた時期がある。最終的には</p>

校章や校歌の検討など、地域の方や子どもたちの意見を吸い上げるため、その都度、必要な会議を開催しており、担当者は大変苦勞していたと思う。

委員

廃校となった学校の跡地利用について伺う。

小川委員

旧星宮小学校は、教育研修センターの分室として、令和5年4月から活用することを決定した。

また、その他の学校については、地域の方が地域活動などで体育館を継続して使用している。

跡地利用の問題は、保護者や地域の方の関心が強いことから、跡地利用の在り方についても事前にお示しできたことが、学校再編を成功に導いた要因の一つだと思う。

小林副会長

小学校2校は、開校する段階で1校を公民館的な役割を持つ施設に、もう1校は民間へ売却することになっていた。

公民館的な施設については、まだ実現できていないが、震災による損傷により取り壊しとなった大風会館に代わる役割を持たせるべく事業を進めている。

旧富多小学校は、民間への売却が完了し、農業研究施設としての活用が始まっている。

委員

学校の再編により、教育効果が高まったという認識でよいか。

小川委員

行田市を退職して3年経過するので、現状について具体的なことは分からないが、過去には小規模の小学校から中学校に進学した時に、大人数に適応できず不登校気味になる子どもがいたが、人数が増えたことで解消傾向にあると聞いている。

なお、学力的な部分については、これからというところである。

小林副会長

江戸川小中学校は、先程申し上げたように、外部から様々な悩みを抱えた子どもたちが転入することもあるが、基本的にはそういった子どもたちが回復の方向に向かい、不登校気味だった子どもが普通に学校生活を送れ

<p>5 その他  (1) 次回審議会日程</p> <p>6 閉 会  午後 3 時 15 分</p>	<p>るようになったケースが多い。  これは、1クラス 20 数人という規模と、教職員が 1～9 学年まで係われることで、きめ細かく見守ることができることが要因だと思う。  学力面は、個々で考えていった場合には、伸びていると思う。まだまだ課題はあるが、5・6 学年の約半分を教科担任制にしている。これは、教員が子どもたちを見守るといった担任の役割もあるので、そのような措置をとっている。</p> <p>事務局  次回の審議会の日程について説明する。</p> <p>日時 令和 4 年 11 月 29 日 (火)  午後 1 時 30 分  場所 市役所本庁舎 3 階 第 1 委員会室</p> <p>小林副会長  閉会を宣す。</p>
---	---



<p>他 特 に 重 要 と 認 め る 事 項</p>	<p>な し</p>
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: right;">令和 4年11月29日</p> <p>署名</p> <p style="text-align: center;">     審議会会長            森        祥 一      審議会委員           井 上 弘 江      審議会委員           松 田 光 男      事務局職員           大 竹 孝 典   </p>